



祝! 3大会
連続出場

リオデジャネイロ・パラリンピック ゴールボール女子日本代表

安達阿記子さんを応援しよう

9月7日に開幕するリオデジャネイロ・パラリンピックにゴールボール日本代表として出場する八女市出身の安達阿記子さんが、7月28日(木)、八女市役所を訪ね、三田村市長に出場を報告しました。安達さんに、連覇がかかる今大会に向けての意気込みを語っていただきました。

目指すは連覇。しっかり準備して大会に臨む
～安達さん～

「ロンドン大会以降の4年間を振り返ると、世界のレベルアップが凄まじく、リオ大会の出場権を

獲得するまでが本当に大変でした。最終予選という土壇場でつかんだ切符。自分たちの持つ底力を信じて戦っていきたいと思っています。

リオ大会の初戦は、7月の大会の決勝で敗れたイスラエルとの対戦です。ぜひ勝利を収めていい波に乗れたらと考えています。海外の選手は高く跳ねるバウンドボール等を多用し、攻撃力が強いのが特徴です。日本人とは体格とパワーが違いますので、私たちはそれらに対応できるディフェンスをしておく必要があります。大きい選手にはないスピード、切り返しの速さで

勝負していきたいと思っています。

気持ち的には、前大会の金メダルは過去のことだと考えています。しかし、連覇に挑戦できるのは日本だけなので、もう一度世界の頂点を目指すチャレンジャーとして今大会に臨みたいと思っています。

初めて日本チームのメンバーに選ばれた時に、八女市の皆さんに遠征費等の支援をいただきました。今の自分があるのも皆さんの支えのおかげです。市民の皆さんに元気になってもらえるような結果を残すよう頑張りたいと思います」

未来を担う子どもたちに見てもらいたい～三田村市長～

三田村市長は、「3大会連続での出場、本当におめでとうございませう。連覇をかけたプレッシャーのかかる大会になると思いますが、安達さんの努力と成果を未来を担う子どもたちにも見ていただいて、何かを感じてもらえたらと思う。市民を挙げて応援していますので、ベストを尽くして頑張ってください」と激励しました。

安達さんには、八女市体育協会から激励費が手渡されました。9月に始まるパラリンピック、市民一丸となって安達さんを応援しましょう!

ゴールボールとは

1チーム3人で視覚障がいのある選手たちが行う対戦型のチームスポーツ。攻撃側は鈴の入ったボール(1・25kg)を相手ゴール(高さ1・3m、幅9m)に向かって投球し、守備側は全身を使ってボールをセービングする。選手たちはボールから鳴る鈴の音や相手選手の足音、動く際に生じる床のわずかな振動などを頼りに、攻撃と守備を攻守を交互に入れ替えて得点を競う。試合は前後半12分ずつの計24分、ハーフタイムは3分で行われる。選手は視力の程度に関係なく、アイシールド(目隠し)を装着してプレーする。もともとは、第二次世界大戦で視力に障がいを受けた軍人のリハビリテーション。(日本パラリンピック委員会HPより)



平成24年10月の広報やめより





修繕が終わった洗玉橋

120年の時を紡いで、洗玉橋よ再び

輪石の一部が崩落するなどの損傷が出ていた上陽町の洗玉眼鏡橋（以下洗玉橋）の修理工事が、6月から7月にかけて行われました。洗玉橋は熊本県の通潤橋（国指定重要文化財）などを手がけた種山石工・橋本勘五郎により明治26年に竣工。120年の時を経て、洗玉橋の修理を手がけたのも、種山石工の技術を受け継ぐ技術者でした。

住民の悲願、「石橋」

明治の頃、洪水でも流されない石橋の架設は住民の悲願でした。当時北川内村の村長は、皇居の奥二重橋や熊本県の通潤橋で名を馳せた肥後（現在の熊本県八代市）の種山石工・橋本勘五郎に星野川への石橋の架設を依頼。郡や村、住民らの寄付によってお金を集め、明治26年（1893）に洗玉橋が完成しました。

洗玉橋の要石（アーチを締める最後の石）には『肥後上益城矢部吹上兄弟橋 八代種山棟梁橋本勘五郎 俸源平 孫為八』と刻銘されています。矢部吹上とは通潤橋のこと。洗玉橋には通潤橋と同じ鞘石垣の工法を用いるなど、当時70歳を超えていた勘五郎が自信をもって最後に手がけた大橋なのです。北川内村に住み着いた勘五

郎の弟子により八女の石工へと石橋の技術が伝わり、二連の寄口橋、三連の大瀬橋、四連の宮ヶ原橋などの美しく堅牢な石橋が次々と架けられていきました。一連の洗玉橋から四連までの石橋は、『ひふみよ橋』という愛称で呼ばれ、今日まで親しまれています。一つの川に一連から四連までの石橋が順序よく並ぶ姿は、ここだけでしか見ることできません。

洗玉橋取り壊しの危機に

昭和36年、交通量の増加により橋の機能としては十分でなくなった洗玉橋に代わり、鉄骨の橋が完成しました。このとき洗玉橋は取り壊しの危機にありましたが、当時の町長や議長、住民の努力により橋は保存されることに。以来、洗玉橋は上陽

「美しいひふみよ橋を市や県の文化財へ」
久間一正さん
（ひふみよ橋を守る会会長）

平成24年7月の九州北部豪雨災害後、石橋を守ろうと『ひふみよ橋を守る会』は発足しました。特に被害が大きかった宮ヶ原橋は、市の英断と地元の方々のご理解により改修と現地保存が決まり、深く感謝しています。また、今回洗玉橋の修理に関しても、早急に対応いただき感謝しています。星野川にかかるこれら四連の橋は、全国でもここで見られない美しい風景です。会としては四連まとめて市や県の文化財登録へとお願ひしているところです。これからも保存活動が続けていきますので、住民の皆さんのご協力をお願いします。



大正9年寄口橋の架設風景

「土曜クラブ」

がスタートしました

7月9日(土)、おりなす八女を会場に、子ども食堂と学習支援に取り組む「土曜クラブ」がスタートしました。地域の子どもたちが元気に成長していくために「食と学習の支援」を行うボランティアグループ「チャイルドサポートネットワーク」代表 下川京子^{けいこ}さんにお話を伺いました。



チャイルドサポート ネットワーク
代表 下川京子さん

地域の子どもたちを
地域で支援していきたい

『土曜クラブ』は、子どもたちの「食」と「学習」のサポートを通じた居場所づくりです。

子どもたち個人個人の背景にある社会経済格差が子どもの育ちに大きな影響を与えています。子どもたちが安心して健康に日々を暮らし、未来に夢を抱き次の社会を担う人に育って欲しい。それが私たちの願いです。

この活動には、元教員、塾講師の経験者、会社員、農業者、公務員、主婦、地域の高校生、食育活動のグループなど、様々

な方々にボランティアとして携わっていただいています。地域の大人たちが子どもたちの「共育」に携わり、学びや暮らしを支えていければと考えています。

土曜日に保護者が仕事に出て一人である子どもたち、部活動を頑張っている生徒、仕事で疲れて元気がない保護者など、いろんな方々に参加してほしいと思います。みんなで楽しくご飯を食べた後は、勉強の時間です。もちろん昼ご飯を食べるだけでもかまいません。一人で勉強するのが苦手な人、学校の勉強が少し難しくなっている人、受験に向けて頑張りたい人など、じっくり勉強に取り組むことができます。

まだ始めたばかりで手探りの状況ですが、この活動を早く軌道に乗せ、同じような取り組みが市内の各地域にも広がっていけばいいなあと思っています。

土曜クラブの内容

子ども食堂

- 場所〓おりなす八女研修棟調理室、ギャラリイ
- 開催日〓毎週土曜日11時30分～13時
- 利用料〓子ども(高校生まで)：無料、大人：カンパ
- お昼のメニュー〓主にカレーバイキング(ハヤシライス、パスタなども予定)

※アレルギー対応はできませんので各自で注意してください。

学習支援

- 場所〓おりなす八女研修棟ギャラリイ、研修室等
- 開催日〓毎週土曜日
- ▽小学生13時～14時
- ▽中学生13時～15時
- 利用料〓無料
- 支援内容〓基本的に個人ごとに自主学習するスタイル。分からないことがあれば常駐する講師スタッフに質問する。小学生は宿題を中心に学習、中学生は個人の計画(問題集)や受験に向けての学習などに取り組みます。

▼問い合わせ〓下川さん

(☎)090・3073・8212

(Fax)0943・323・6033

※8月13日(土)と12月31日(土)は休みの予定です。

八女市はこども食堂事業を応援します！

市内で、こども食堂を開催中または開催予定の方に、こども食堂事業費の補助を行います。

▼補助額

- 運営費 30万円を限度(年額)
 - 開設費 15万円を限度(対象経費の1/2以内)
- 補助は要件があるので、詳細は子育て支援課こども家庭係(☎23・1351)までお問い合わせください。



①西日本短大附属高校のボランティア部、演劇部、文芸部の生徒たちがボランティアで参加。レクリエーション時間の指導や学習支援にあたる②参考書等の教材も揃っています③子ども食堂を支援する「Happyキッチン」の皆さん



①みんなで食事をしながら交流を深める子ども食堂②当日のメニューはカレー、サラダ、デザート③元教員や塾講師の経験者、高校生などがボランティアで学習指導にあたる

映画「甲子園まで 642キロ(仮)」 八女ロケにて秋にクランクイン!

遠ざかる甲子園をたぐり寄せたのは、演劇の舞台だった!?
名門野球部が巻き起こした奇跡の実話、ここに完全映画化!

八女を舞台にした実際のドラマ

八女市在住の竹島由美子さんの著作である「野球部員・演劇の舞台に立つ!」が八女を舞台に映画化が決定しました。

この物語は、強豪校の野球部員がひよんなことから演劇の舞台に立つことになり、台本片手に慣れない稽古を始めます。芝居を作り上げることと、甲子園に向けてチーム一丸となることの共通点に気づき、本来持っている能力を発揮して演劇部員とともに見事な舞台を作り上げていきます。そこにはハツラツとした若者たちの汗と息づかいが弾けます。

また、自然豊かな八女地域の

風景や伝統工芸・農産物などが随所に登場。地場産業・地域農業・学校教育の活性化につながる事が期待されています。

まもなく主演をはじめとした俳優陣の決定、またエキストラ出演者の八女でのオーディションを経て、11月にクランクイン、12月クランクアップ、来春完成予定です。福岡県での先行上映を中心に全国上映を目指し活動が行われています。

八女の魅力がたくさん詰まった映画を地域住民・関係者の皆さまとともに作り上げて、全国に発信していきたいと思えますので、皆さまのご支援をよろしく願います。

なお、「映画「甲子園まで642キロ」を支援する会」では、映画製作に関するボランティアスタッフを募集しています。ご協力いただける方はご連絡ください。

【問い合わせ】

映画「甲子園まで642キロ」を支援する会
(〒834-0047 八女市稲富113-1)
電話&ファクス(24・9061)
担当 平井さん(☎090・5473・9968)

矢部村にお住まいの皆さんへ

八女よかとこツアー 石橋、虚空蔵さんめぐり &おいしいものツアー



平成22年度に合併し広域となった市内には、まだまだ知らない「よかとこ」がたくさんあります。地元自慢の「うまかもん」や、知っているようで知らない「よかとこ」を皆さんでめぐってみませんか?
今回は、上陽エリアを企画しました。上陽町のシンボルである石橋めぐりや、虚空蔵さん参拝を予定しています。また、昼食はそば処おおまがりで召し上がっていただき、ほたると石橋の館でおやつをのんびり食べながら、日頃の疲れを上陽町で癒してみませんか?

- 実施日 9月13日(火)
- 集合場所 矢部支所
- 集合時間 9時
- 内容 石橋めぐり、虚空蔵さん参拝、そば、粉茶ソフトクリームなど予定
- 参加料 3000円(予定、昼食・体験料含む)
- 募集人員 20人
- 解散時間 16時30分(予定)
- 申込・問い合わせ 矢部支所建設経済産業観光係(☎47・3111)
- ※ ツアー内容・参加料は、都合により変更する場合があります。
- ※ 定員になり次第締め切ります。詳細は問い合わせ先の窓口チラシを設置しています。



洗玉橋



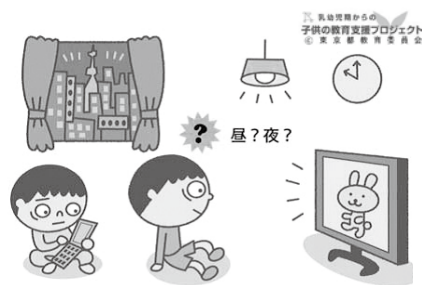
寄口橋



虚空蔵さん

乳幼児期のメディアの影響について考える

テレビやDVDを見せていると子どもは静かにしているので、つつけばなしになっていませんか？または携帯電話やスマホを扱いながら子どもの相手をしていることはありませんか？今回は乳幼児期のメディアの影響についてお伝えします。



テレビやゲーム、スマホで昼と夜が逆転？！

テレビやDVDがつけばなしになってくると刺激が強くなり、人から直接受ける大切な刺激（お父さんやお母さんとのやりとりで受け取る五感への刺激）が脳に入りにくくなる危険性があります。

また、このような刺激を長時間受けることは、脳の神経の発達に著しい乳幼児期の子どもには、脳の機能の中でも土台の部分よりも、高度な機能だけをフル回転させてしまうことになりかねません。

赤ちゃんにおっぱいやミルクを与えるときも、テレビを見ながらとか携帯電話やスマホを扱いながらでは、赤ちゃんにはテレビの画面から出る強い人工の光刺激や携帯電話やスマホの大きな音の刺激が入ってしまい、家族の声など、柔らかな

く届く大切な刺激は入りません。長時間、テレビやDVDをみることが「ことばの遅れ」と関係しているとも言われます。未発達な子どもの脳に対して、平面的な視覚刺激よりも、立体的なものを直接見たり触ったりするような、同時にたくさん種類の刺激があることが望ましいです。

Q. では、テレビを消して何をしたらよいのでしょうか？

A. 赤ちゃんには自分で遊ぶ力があります

たとえば…おもちゃなどをなめる、ひっくり返す（起こす）、倒す、振り回す、投げるなど。
A. 子どもは遊びの天才、テレビがなくても遊べます

外では、公園などを歩く、走る、滑り台を昇り、降り、家の中では、お友達を呼んで一緒に遊ぶ。また、親や大人と関わることも遊びの一つです。

現代はテレビ、DVD、携帯電話、スマホがあることが当たり前の世の中です。すべてをなくすことは難しいですが、時間を決めるなど上手な付き合い方を考えましょう。まずは試みにテレビを消してみませんか？
（参考資料…子供の教育支援プロジェクト東京教育委員会）

楽しみながら運動習慣をつけてみませんか？

「ヘルシー運動教室（後期）」の募集

健康的に運動習慣をつけ、体重を減らすことを目的とした5か月間（10月～2月）の運動教室を開催します。「体重を減らしたいがどの様な運動をしたがよいかわからない」「ひとりではいたが長く続かない」という人はぜひこの機会にご参加ください。

運動・スロージョギング等）

【東部会場】

▽日程＝おおむね第1・3金曜日（※初回10月14日金）

▽時間＝13時30分～15時（受付13時～）

▽会場＝星野総合保健福祉センター「そよかぜ」

▽内容＝有酸素運動や筋肉トレーニング（ジムの器具を使用した運動等）

●申込締切＝9月16日（金）まで

※どちらかの会場に申し込みください。申し込み多数の場合、初めて参加される人を優先させていただきます。

●申し込み＝健康推進課保健指導係（☎23・1352）

●BMI（体格指数）25以上
※BMI計算式＝体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）。お持ちの健診結果をご覧ください。

【西部会場】

▽日程＝おおむね第1・3火曜日（※初回10月4日火）

▽時間＝13時30分～15時（受付13時～）

▽会場＝八女市総合体育館
▽内容＝有酸素運動（ステップ

【参加者アンケートより】
・体重が減ると体が軽くなり、膝や腰への負担も減り良かったです。
・自分の身体に関心を持つようになりました。





9月の各種相談・健診・予防接種

申込・問い合わせ
健康推進課(023・1352)

健康相談

保健師や看護師が、血圧測定・尿検査・体脂肪測定をします。健康に関するいろいろな相談に応じます。健康手帳をお持ちの人は持参ください。

※電話相談も行っています。

- 日時=9月2日(金) 10時～11時 / 黒木地域交流センター「ふじの里」
- 日時=9月5日(月) 9時30分～11時 / 八女市保健センター
- 日時=9月6日(火) 14時～15時 / 立花総合保健福祉センター「かがやき」
- 日時=9月7日(水) 10時～11時 / 上陽支所
- 日時=9月9日(金) 14時～15時 / 星野総合保健福祉センター「そよかぜ」
- 日時=9月15日(木) 14時～15時 / 矢部基幹集落センター

乳幼児健診

旧八女市・立花町の皆さん

●受付時間 13時15分～14時30分

●会場 やめっこ未来館

●日にち・対象=

- 9月13日(火)=10か月児(平成27年11月生)
- 9月21日(水)=4か月児(平成28年5月生)
- 9月27日(火)=1歳6か月児(平成27年2月生)
- 9月29日(木)=3歳児(平成25年8月生)

旧黒木町・上陽町・矢部村・星野村の皆さん

●受付時間 13時30分～14時30分

●会場 黒木地域交流センター「ふじの里」

●日にち=9月20日(火)

●対象=1歳6か月児(平成27年1月と2

月生) / 3歳児(平成25年7月と8月生)

※対象者には個別に通知します。

※事前に連絡いただくとどちらの会場でも健診を受けることができます。

ベビーズクッキング

離乳食初期(5～6か月児)のお話と調理。参加する人は事前に健康推進課までお申し込みください。託児あり(要申込)。

●日時 9月15日(木) 10時～13時 ※受付9時30分～10時 ●会場 おりなす八女研修棟 ●持参品 エプロン、三角巾、手拭きタオル、筆記用具 ●材料費 300円 ●定員 15人

もぐもぐ!かみかみ!離乳食教室

離乳食中期・後期(7か月児～1歳児ごろ)のお話と調理。参加する人は事前に健康推進課までお申し込みください。託児あり(要申込)。

●日時 9月8日(木) 10時～12時 ※受付9時30分～10時 ●会場 おりなす八女研修棟 ●持参品 母子健康手帳、筆記用具、手拭きタオル ●定員 10人

子育て相談

子育てのことで、少しでも心配なことがあったらお気軽にご相談ください。身長・体重測定もできます。母子健康手帳をお持ちください。

※相談日以外でも、窓口や電話で子育て相談を行っています。(身長・体重測定はできません)。やめっこ未来館会場では、公立八女総合病院の助産師による「母乳



相談」も行っています。

- 日時=9月6日(火) 10時～11時 / 矢部基幹集落センター
- 日時=9月7日(水) 9時30分～11時 / やめっこ未来館
- 日時=9月16日(金) 13時15分～14時30分 / やめっこ未来館

乳幼児心理相談

心理士による個別相談です。対象者は小学校修学前までの人で、成長発達面に不安のある人です。心配なことがあればお気軽にご相談ください。※予約制

●日時 9月8日(木) 9時～16時 / 9月29日(木) 9時～16時
●会場 八女市保健センター
●日時 9月20日(火) 9時～16時
●会場 黒木地域交流センター「ふじの里」

心理士によるこころの相談

心理士による個別相談です。対象者は市内在住で、こころに悩みがある人です。お気軽にご相談ください。※予約制

●日にち 9月28日(水) ●時間 13時30分～15時30分まで受付 ●会場 おりなす八女研修棟第5研修室

参加者募集

生活習慣病予防教室

すこやかな食べ方教室

20～74歳の人で、血糖値が高めと判定された人、糖尿病予備軍、糖尿病治療中など、糖尿病が気になる人を対象にした教室です。市保健師、管理栄養士による糖尿病予防についての話および生活習慣病を予防するための食べ方のコツを、予防食を試食しながら実践します。

●日程=9月1日(木) 10時～13時(受付・健康チェック9時30分～10時まで)

●場所=おりなす八女研修棟1階

●参加費=300円(調理材料代)

●定員=20人(先着順)

●持ってくるもの=今年度受けた特定健診結果、筆記用具、エプロン、三角巾、手拭きタオル

●内容=血圧測定など健康チェック、健診結果の見方、食事について、予防食試食、個別相談(希望者)

●申込期間=8月15日(月)～8月25日(木)

●申込・問い合わせ=健康推進課 保健指導係(023・1352)

※申し込みされた人には、後日詳しい内容のお手紙を差し上げます。



オープンいなり寿司



八女市食生活改善推進会立花支部の研修会で作ったいなり寿司です。おもてなしにどうぞ。

【材料】6人分(24個分)

- 油揚げ=12枚(120g)
- だし汁=300ml
- 濃口醤油=大さじ1
- きび糖=大さじ1
- ごはん=600g
- 米酢=大さじ3
- きび糖=大さじ1.5
- 塩=小さじ1/2
- 白ごま=8g
- きゅうり=60g
- 干し椎茸=1枚
- たけのこの水煮=40g
- だし汁=50ml
- 濃口醤油=小さじ1
- きび糖=小さじ1
- ミニトマト=6個
- 鶏卵=1個
- 塩=0.4g
- なたね油=小さじ1

【作り方】

- ① 油揚げは熱湯をかけて油抜きをし、半分に切って袋をひらく。鍋に油揚げとAを入れて強火にかけ、煮立ったら中火で15分ほど煮て煮含める。
- ② きゅうりは薄い長方形に切る。
- ③ 干し椎茸は水で戻し、干し椎茸とたけのこの水煮を薄切りにし、Cの調味料で煮る。
- ④ ミニトマトは輪切りにする。
- ⑤ 鶏卵と塩を混ぜ、なたね油を引いて中火で熱したフライパンで炒めて炒り卵にする。
- ⑥ ボウルに、ごはん、Bの合わせ酢、白ごまを入れて混ぜる。
- ⑦ ①の寿司あげの汁気を切って⑥の寿司めしを詰める。
- ⑧ きゅうりと炒り卵、ミニトマトと干し椎茸とたけのこの煮物をそれぞれのせ、盛り付ける。

1人分あたりの栄養価

エネルギー	303Kcal
たんぱく質	8.6g
脂質	9.1g
炭水化物	44.6g
カリウム	220mg
カルシウム	101mg
マグネシウム	48mg
鉄	1.5mg
食物繊維	1.5g
食塩相当量	1.0g



荒木駅で空襲に遭う。 乗っている車両が違っていたら、 命はなかった。

中川 新介さん（黒木町本分・85歳）の戦争体験

終戦から71年。戦争を体験した世代は年々減少しています。「戦争の恐ろしさ、平和のありがたさを語り継いでいくのは、あの時代を生き抜いたものの責任」と、中川新介さんは当時13歳、14歳だった自らの戦争体験を話していただきました。

46歳で再び召集を受けた父が
「日本は負ける」と

太平洋戦争末期、食料も十分になく、毎日トイモめしやカボチャのシノ（茎）まで食べていました。おやじは46歳で再び召集され、久留米の48連隊に入隊しました。休みで帰郷した際、「日本は、もう負ける」と言いました。隊ではリヤカーで戦車を作り、爆弾を抱えて敵に突っ込む『爆弾三勇士』のような訓練ばかりを受けていたそうです。米軍との圧倒的な軍事力の差を感じていたのでしょうか。

私は農兵隊で宗像へ行っていました。農兵隊に行くとは徴用が来ないといわれていました。芦屋の飛行場から1キロぐらいの所に塹壕を作っていました。ちょうど作業をしている上でB29が旋回し、八幡を爆撃していました。本当に恐ろしかったです。宗像にいた時は神湊まで馬車で海水を汲みに行き、海水の塩分で煮炊きをしていました。お椀ではなく、

たかつぼ（竹の器）だったので、みんな空腹で大きなたかつぼを奪い合っていました。

昭和20年8月8日、荒木駅で空襲に

下関に大豆が沈んでいるからそれを肥しにするために取りに行ってくれと組合長に言われ、近所できじ引きをしました。くじで当たった人の家が初盆だったため、私が代わりに行くことになりました。昭和20年8月8日のことです。羽犬塚から汽車に乗りました。グラマンとB29の空襲の真っ最中で、荒木駅の少し前でグラマンの奇襲攻撃に遭いました。私は防空ずきんをかぶっていましたので、汽車から飛び降りて、命からがら役場の防空壕へ飛び込みました。乗っている車両が違っていたら、命はなかったでしょう。

荒木駅の近くの工場には、今も空襲の跡が残っています。それを見ると、当時のことが思い出されてなりません。

うちは8人きょうだいで、一番上の兄が戦死しました。兄はおやじにだまって海軍に志願して横浜に行ったのですが、どこの戦地に行ったのかはわかりませんでした。後でマニラに上陸した時に亡くなったと聞き、戦死の知らせが来ました。戦後、三男だった私が家を継ぎ、農業をして懸命に働きました。平和な世の中となった今も、時々当時の恐ろしい夢を見て夜中に起きることもあります。

まわりに戦争を知る人も少なくなり、あのときの体験を伝えていかなければとの思いがあります。戦争はいかん。戦争はみじめになるだけ。

2020年、再び東京でオリンピックが開かれます。オリンピックは平和の祭典であり、私たちの青春時代には考えられなかったことです。ここで日本がテロを抑え、無事に平和の祭典をやり遂げるのを見届けたい。孫たちの時代や、また未来永劫、平和が続くことを祈っています。

【爆弾三勇士（肉弾三勇士）】独立工兵第18大隊（久留米）の3人の一等兵が第一次上海事変で敵陣を突破して自爆し、突撃路を開き英雄とされた。

【農兵隊】戦争末期、当時14・15歳の少年たちが食糧増産に駆り出され、開墾・開田をはじめ、土木工事などの強制労働に従事した。全国で募集、編成され、その数は約12万人といわれている。

【久留米空襲】空襲は昭和20年（1945）8月8日に荒木駅周辺で、11日には市中心部であり、合わせて約250人が犠牲となった。荒木駅の空襲では乗客や周辺住民がこの機銃掃射の被害に遭い、判明しているだけで44人を超える死傷者が出た。

8月25日から31日までの1週間は 「飲酒運転撲滅週間」です

思い起こそう！

8/25 2006

飲酒運転による悲惨な交通事故を
二度と起させないために



海の中道大橋

海の中道大橋の事故から 10 年
飲酒運転撲滅の決意を新たに！

八女市

海の中道で起こった事故から
10年が経とうとしています。
再び飲酒運転による悲惨な事
故を起こさせないためにも、
飲酒運転撲滅の決意を新たに
しましょう！

あなたは大丈夫？ 飲酒運転してるかも？

ビール 1 杯 (500ml) の処理時間は体重 60kg の人
で約 4 時間といわれています。(処理時間は目安で
す。体質、体調によってはさらに時間がかかります)

例 ビール 3 杯
飲んだ場合の
処理時間＝
4 時間×3 (杯)
＝12 時間！



A さん
の場合

お酒が覚めるには意外と時間が必要なこと、知っていますか？

① 19:00～22:00
【居酒屋】



② 22:15～24:00
【カラオケ】



③ 24:00～6:00
【車中で仮眠】



④ 7:00
【検問】



飲酒后、体内でアルコールを処理するには時間がかかります。

飲んだ翌日など、アルコールが体内に残った状態で車を運転すると「飲酒運転」になります！

● 問い合わせ＝防災安全課生活安全係 (☎ 24・8146)

柳島行政区が最新鋭の 消防ポンプを購入

柳島行政区では、八女市消防団八女支団第7分団第2部の消防ポンプの更新（買換え）を行い、7月10日（日）詰所前にて関係者が一堂に会し、入魂式がありました。桐明俊光行政区長はいささつの中で「今までのポンプは26年前に整備したもので、地域の理解と協力により最新鋭の消防ポンプを整備できて感謝しています」と述べられました。山本忠宏第7分団長は、「感謝の言葉と地域の安全安心のため、さらに尽力したい」と決意を新たにされました。



社会を明るくする運動の 街頭啓発を実施しました

7月1日（金）と15日（金）に社会を明るくする運動街頭啓発を市内8か所で行いました。八女保護区保護司会八女支部をはじめ、更生保護女性の会、八女警察署など多くの方の参加により盛大に開催されました。両日とも天候に恵まれ、たくさんの方に犯罪のない明るい社会を築いていく重要性を訴えることができました。

犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くためには、地域すべての人がそれぞれの立場で理解し、関わりをもっていくことが大切です。これからも地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。



介護・福祉を身近に 九州大谷短期大学が冊子を贈呈

7月20日（水）、九州大谷短期大学が作成した介護・福祉に関する冊子『記憶の星空』の贈呈式があり、中村秀一福祉学科教授から西島教育長に手渡されました。

これは、地域の若い人たちに、介護・福祉にもっと関心を持ってもらおうと、マンガで分かりやすい冊子を作り、将来の人材確保につなげていくことを目的とした取り組みです。西島教育長は「地域の高齢化が進む中で介護・福祉は大変重要な分野であり、公民や道徳の授業で活用させていただきたい」とお礼を述べました。この冊子は八女市内の全中学生に配布されます。ありがとうございました。



福岡法務局長から 感謝状贈呈

長年にわたって人権擁護委員として活動された中村信夫さん（立花町）に、7月1日付で福岡法務局長から感謝状が贈られました。中村さんは平成19年4月から平成28年6月まで、人権思想の普及や人権擁護活動に尽力していただきました。ありがとうございました。



人権擁護委員の委嘱

市の人権擁護委員として次の方が法務大臣から委嘱を受けました。（敬称略）

《再任》 小森清実（矢部村）
《再任》 引地義治（矢部村）
《新任》 中尾信幸（立花町）
任期は平成31年6月30日までです。

人権擁護委員とは

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けた人たちです。基本的人権の擁護を目的として、地域の住民が人権について関心をもってもらえるような啓発活動を行ったり、法務局の人権相談所や市の公共施設等において特設人権相談所（なんでも人権相談）を随時開設して、住民の皆さんからの人権相談に応じてたりしています。人権擁護委員は、あなたの街の身近な相談パートナーです。相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

●問い合わせ 福岡法務局八女支局（☎23・2603）

【お詫びと訂正】

広報やめ8月1日号17ページ「まちのわだい」で橋山翔輝さんの学校名を「見崎中」としていましたが、正しくは「南中」でした。お詫びして訂正します。

お知らせ



八女軽トラ市

八女特産の野菜や加工食品、雑貨などを販売します。

- 日時＝8月28日(日)9時～12時※悪天候の場合中止
- 場所＝八女観光物産館ときめき駐車場※出店者随時募集
- 問い合わせ＝同実行委員会事務局(☎22・3131)

天神さん子どもまつり

子どもたちの健康と学業成就を願います。

- 日時＝8月20日(土)、提灯あり

愛を積むひと

9月3日(土) 13時開場

おりなす八女ハーモニーホール 入場無料



- 日時＝9月3日(土)

開場：13時／開演：13時30分／上映：14時(125分)

- 場所＝おりなす八女ハーモニーホール※上映の前にオープニングセレモニーがあります。
- 入場無料(定員796人・当日先着順)
- 無料託児あり(託児を利用される人は8月25日(木)までに要予約)
- 問い合わせ＝男女共同参画・生涯学習課(☎23・1314)

- 17時～21時(20日雨の場合21日に延期、21日も雨の場合28日に延期)
- 場所＝福島八幡宮
- 問い合わせ＝八女ふるさと塾・中島さん(☎22・5804)

FILM FILM FILM in YAME

市民との協働によるまちづくり提案事業。フィルムカメラを1日レンタルして、八女の町並みや自然を思い思いに撮影してください。期間中には写真教室もあります。また、撮影した写真を展示する写真展を12月に開催します。

- 期間＝8月22日(月)～11月13日(日)
- 料金＝4500円(税別。フィルムカメラ1日レンタルパック6点)
- 写真教室＝9月3日(土)、24日(土)、10月16日(日)、30日(日)の10

時～14時※各回定員12人程度(多数の場合抽選)、参加無料。
●申込・問い合わせ＝Rain Café(☎24・3233)

おりなす八女室内楽コンサート

平日お昼のコンサートです。クラシック鑑賞が初めての人もぜひこのチャンスにご来場ください。入場無料ですが、入場整理券が必要です。

- 日時＝8月26日(金)14時
- 場所＝おりなす八女ハーモニーホール
- 問い合わせ＝おりなす八女(☎22・5332)



「UVレジン押し花体験会」&販売会

レジンという樹脂と押し花を使用して、光により硬化させて作る素敵な夏のアクセサリ作りを体験してみませんか。

- 体験会＝8月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)10時から13時30分からの2回、キーホルダー、ブローチが作れます。
- 講師＝伊藤千代子さん
- 参加費＝1回1300円
- 会場＝申込＝八女伝統工芸館(☎22・3131)

森林セラピーと八女伝統本玉露教室



森林セラピーとは、森の持つ癒し効果を心と身体の健康に活かそうという取り組みです。午後からは、日本地理的表示(GI)に認定された八女伝統本玉露から、全国品評会出品の茶葉を使用した「しずく茶体験」などの教室を開催します。森林セラピーと八女伝統本玉露のひとときに癒されてみませんか。

- 日時＝9月17日(土)10時～14時(9時45分集合)
- 場所＝くつろぎの森グリーンピア八女
- 参加料＝2,500円(セラピー体験、レストランでの食事、温泉入浴券、お茶の逸品、和菓子込み)
- 募集締切＝9月7日(水)※先着定員50人
- 申込・問い合わせ＝黒木支所産業経済課(☎42・1115)

第52回簿記講座

簿記の初歩から実践までの講座です。受講料を添えてお申し込みください。

- 期間＝8月29日(月)～11月18日(金)※毎週月・水・金曜日(祝祭日と9月23日、10月5日を除く)、全32回開催
- 時間＝19時～21時
- 場所＝八女商工会議所
- 受講料＝8千円
- 定員＝30人(先着)
- 申込・問い合わせ＝八女商工会議所(☎22・5161)

公立八女総合病院健康公開講座「乳がんについて」

正しい知識を持ち早期発見・治療につなげるために、医師や専門職による健康講座を行います。予約不要。参加無料。

サウスクラブ 短期子ども体操教室

- 日時＝9月1日(木)14時～17時
- 場所＝八女ハーモニーホール
- 参加料＝2,500円(セラピー体験、レストランでの食事、温泉入浴券、お茶の逸品、和菓子込み)
- 募集締切＝9月7日(水)※先着定員50人
- 申込・問い合わせ＝黒木支所産業経済課(☎42・1115)

- 日程＝9月2日(金)17時30分～18時30分※9月は1回のみ
- 場所＝総合体育館
- 対象＝小学1年生～6年生
- 参加費＝▽一般300円
- ▽会員無料
- 問い合わせ＝総合体育館内サウスクラブ(☎24・1340)

八女消防本部 採用試験

- 受験資格＝平成4年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人で（高等学校卒業程度以上の学力がある人）採用後、八女消防本部管内およびその周辺に居住できる人。ただし、欠格事項に該当する人は受験できません。
- 受付期間＝8月22日(月)～9月2日(金)
- 試験日＝10月16日(日)
- 試験会場＝八女市立福島中学校
- 申込・問い合わせ＝八女消防本部総務課（☎24・0119）

第35回人形原句碑記念句会



募集

岩戸山古墳に昭和55年9月15日に建立された「向井去来・野田成亮顕彰碑」を記念して句会を開催します。どなたでも参加できます。

●日時＝9月18日(日)、受付11時～12時※13時投句締切

●会場＝岩戸山歴史文化交流館

●属目＝「岩戸山古墳とその周辺」1人5句

●問い合わせ＝文化振興課（☎24・8163）



相談

ふくおか農林漁業新規就業セミナー・就業相談会

県内で農業を始めてみたい人、農林漁業事業体への就業を希望する人を対象に、就業

セミナー・就業相談会が開催されます。内容は就業情報の提供、個別相談等です。参加無料、申込不要

●日時＝8月21日(日)、受付12時30分～16時

●場所＝JR博多シティ（10階会議室）

●問い合わせ＝福岡県後継人材育成室（☎092・643・3495）

若年性認知症サポートセンター

福岡県では、若年性認知症の人やその家族に対して、相談を受け、その人に応じた医療・福祉・就労などの関係機関の紹介や、必要な情報を提供するなどの支援を行うため、「若年性認知症サポートセンター」を開設しました。電話または面談による無料相談を

実施しています。秘密は厳守されます。

●相談日時＝火～土曜日、10時～16時

●場所＝クロバンプラザ（春日市原町）

●相談電話＝092・574・0196

就業支援

大牟田高等技術専門学校

受講料無料、教科書代等実費。ハローワークから受講あっせんを受けることができる人対象。

●訓練コース（定員）＝パソコン初級科②（20人）

●訓練期間＝10月～12月

●募集＝8月31日(水)まで

●入所選考＝9月9日(金)

●問い合わせ＝県立大牟田高等技術専門学校（☎0944・54・0320）

一般

八女市農業振興地域整備計画に関するアンケート

現在、農業振興課では、旧市町村ごとに作成された農業振興地域整備計画の統合作業を行っています。市内の農業者から無作為抽出された4000戸の人へ、今後の八女市農

ほほえみ

地域活動支援センター

ふらっち広場からのお知らせ

★場所＝八女市本町178(旧きんぷく亭)
★ふらっち広場（☎24・3022）
11時～17時開館／月曜日休館

★お菓子作り「手作りパフェ」

●日時＝8月21日(日)13時30分～
●参加費＝100円

★地域活動支援センター交流会

●日時＝8月27日(土)10時ふらっち広場出発
●場所＝茶の実作業所、串毛コミュニティセンター
●内容＝昼食会（そうめん流し、から揚げ、スイカ割り）
●参加費＝300円 ※雨天決行

★外出「大牟田イオンモール」

●日時＝9月4日(日)10時ふらっち広場出発
●参加費＝250円

■各イベントは要予約
■平日も簡単な工作・手芸等できますので、お気軽にご来館ください。

市町村立学校の講師等登録制度のご案内

業の振興についてのアンケートを発送しますのでご協力をお願いいたします。

●対象者＝八女市在住の農業者4000戸（無作為抽出）

●提出先＝農業振興課農政係（☎23・1118）

市町村立学校の講師、養護助教諭、学校栄養士代理職員、学校事務代理職員の希望者を登録しています。特に小学校および中学校理科、社会、技術の講師希望者が少ない状況です。該当免許状をお持ちの人はぜひ登録をお願いします。

●資格＝次の免許状・資格を有すること。取得見込みも可。

【講師】登録を希望する校種、教科の教育職員免許状

【養護助教諭】養護助教諭免許状

【学校栄養士代理職員】栄養士

【養護助教諭】養護助教諭免許状

【学校栄養士代理職員】栄養士

大学通信教育 合同入学説明会

【学校事務代理職員】免許状不要
※志願書は南筑後教育事務所で配布しているほか、県教育委員会のホームページからダウンロードできます。

●申込・問い合わせ＝南筑後教育事務所総務課教職員係（☎0942・53・7342）

各大学、大学院、短大別の相談コーナーを設け、参加者は希望する大学の教職員から相談を受けます。申込不要、入場無料、入退場自由。

●日時＝9月3日(土)12時～17時

●場所＝エルガラ8階エルガラホール（福岡市中央区天神）

●対象＝一般、高校生

※詳細はHPをご覧ください。
<http://www.uce.or.jp/>

8月～11月は農地パトロール月間

八女市農業委員会では、8月～11月を農地パトロール月間として、農地利用状況調査を実施します。この調査は、農地法の規定に基づくもので、農業委員会は、毎年1回、その区域内にある農地の利用の状況についての調査を行います。

○遊休農地解消に向けて

農地パトロールと同時に遊休農地解消に向け現地調査や保全管理のお願い等を行います。解消に向けての取り組みを実施します。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

○農地の適正な管理をお願いします。

農地法第2条には、「農地について所有権または賃借権その他の使用および収益を目的とする権利を有する者は、当該農地の農業上の適正かつ効率的な利用を確保するようしなければならぬ」と農地の権利を有する者の責務規定があります。

遊休農地は、火災や病害虫の発生原因となり、隣接の住民や農地へ悪影響をおよぼします。除草、病害虫駆除等、農地の適正な管理をお願いします。この調査結果を基に農業委員会が新たに遊休農地と判断した場合は、12月に実施する農地利用意向調査の対象

となります。

利用意向調査により、所有者等から示された対象農地の利用の意向について、利用意向調査後、6か月を越えて意向通りに対応していない場合や回答しないことにより、対象農地について、農地中間管理機構と協議をすべき旨の勧告を受けた場合は、平成29年度から対象農地にかかる固定資産税の課税における評価の軽減措置が適用されなくなります。

なお、農地の貸付や譲渡を希望される場合は、地元農業委員または農業委員会事務局までご相談くださるようお願いいたします。

●問い合わせ〓八女市農業委員会事務局（☎23・2407）

上下水道局からのお願い



夏の時季、水の需要増加に向けて皆さまに次のとおりご協力をお願いします。

①節水にご協力を

水は限りある資源です。皆さまに、安定した水の供給を行うためにも節水にご協力をお願いします。

【自宅出来る節水方法（例）】

- お風呂の水を洗濯などに再利用。小さめの浴槽でも約200リットルの水が再利用できます。
- 歯磨き・洗顔は、コップ・洗面器を利用しましょう。約1/10で使用できます
- 蛇口の開け閉めはこまめに、全開で1分間に約20リットルの水が流れるとも言われています。

②悪質な業者（水質検査や訪問販売など）にご注意ください。

上下水道局では、次のようなことは行っておりません。

- 一般家庭の水質検査 ●浄水器などの販売・貸出・あっせん ●給水管の清掃・修理など

▽気になる点などありましたら水道局までご連絡ください。

上水道総務係（☎23・1949）

上水道工務係（☎23・1107）

セアカゴケグモにご注意ください！

セアカゴケグモは毒を持っており、咬まれた後、30分から40分して、鈍い痛み、熱感、赤み、腫れ、発疹、発汗（傷口周辺）が現われることがあります。重症化することはまれですが、30分から2時間で、激しい筋肉痛（胸痛、腹痛）、けいれん、吐き気、血圧上昇、呼吸困難等が現れることがあります。特に、小児や高齢者が咬まれた場合は、注意が必要です。八女市においては発見されていませんが、隣の筑後市や久留米市では発見されています。十分にご注意ください。

セアカゴケグモの生息場所

- ① 住宅の周囲（南側の日当たりが良い場所）植木鉢、プランターの持ち手や裏、自動車のタイヤ周りやバンパーの裏等



【セアカゴケグモの特徴】

メスの体長は約0.7～1cm。全体が光沢のある黒色で、腹部の背面と腹面に赤色の模様あり。毒を持っているのはメスだけ。

- ② その他の場所（公園など）すべり台のスロープの裏や階段部分、跳び箱として利用されているタイヤの内側、ベンチの裏、低木の下、自動販売機等

セアカゴケグモを見つけたら

- (1) 絶対に素手で触らないでください。
- (2) 駆除については、発見された土地または建物の管理者で行っていただくことを基本としています。
- (3) クモは、市販の家庭用殺虫剤で駆除してください。
- (4) 卵のう（卵の入った丸い袋）は、殺虫剤が効かないため、踏みつぶしてください。
- (5) 発見した場合は、市役所環境課（☎23・1462）、または、福岡県南筑後保健福祉環境事務所地域環境課（☎22・6963）へご連絡ください。

セアカゴケグモらしきクモにかまれた時は

- ① 温水や石けん水で傷口をやさしく洗い流し、病院で受診してください。
- ② 受診の際は、より適切な治療のため、殺虫剤等で殺したクモをできるだけ持参してください。



子育て支援掲示板 9 月

※子育て…子ども自身が、自らの力で心身ともに成長すること。

子育て支援総合施設
やめっこ未来館 みらい広場
(八女市稲富 499) 圃(☎24・8814)

■赤ちゃん Room・相談 Room

● 9/1 (木) 13:30 ~ 15:30 / 参加費有

■マタニティさん集まれ

「スタイ作り+お茶会」

● 9/6 (火) 10:00 ~ 12:30 / 参加費有、託児有

■田中もとこ先生のふあふあほっぺ

● 9/6 (火) 10:00 ~ 12:00 / 要予約

■双子ちゃん集まれ

● 9/13 (火) 10:00 ~ 12:00 / 要予約

■4 か月さん集まれ (4 月生まれ)

● 9/14 (水) 10:00 ~ 12:30 / 産後ヨガ / 飲み物・バスタオル持参 / 参加費有 / 要申込

■赤ちゃん Room・相談 Room

● 9/21 (水) 13:30 ~ 15:30 / 参加費有

■パパママ集まれ

● 9/24 (土) 10:00 ~ 12:30 / 参加費有 / 要申込

子育て支援施設 ピッコロ
(黒木町桑原 207 ※ふじの里内)
圃ふじの里(☎42・3301)

■エンジェルルーム「お月見団子づくり」

● 9/7 (木) 10:30 ~ / 要申込 15 組限定 / 参加費 200 円 / 三角巾、エプロン持参

■みんなであそぼう「新聞紙遊び」

● 9/11 (日) 10:30 ~ / 要申込

■プレママ&ベビーサロン

「高田先生のハートフルしゃべり場」

● 9/14 (水) 10:30 ~ / 要申込・託児有り
※締切 9 月 10 日(土)

■ハッピーバースデー「大型絵本」

● 9/27 (水) 10:30 ~ / 要予約

子育て支援施設 きらきら
(立花町北山 2747-5) 圃(☎24・9090)

■GOGO! カ〜りる

● 9/8 (木) 10:50 ~ 移動図書館車が来ます。図書利用カードをお持ちの人は持参ください。

■ともだちっていいな

● 9/14 (水) 10:00 ~ / 北山保育所との交流活動 / 今月は「うんどうかいごっこ」です。

■わ・わ・WA! 「ミニ運動会」

● 9/16 (金) 10:30 ~ / 限定 10 組要予約

■すてきな記念日♥

● 9/21 (水) 10:30 ~ ※誕生月者のみ要予約

子育て支援施設 トゥインクル
(星野村 10775-14 ※そよかぜ内)
※開館日=祝祭日除く火・木・金
圃 090・3320・2196 /
やめっこ未来館 (☎24・8814)

■お誕生会

「9 月生まれさん集まれ」

● 9/9 (金) 10:30 ~ / 誕生月者のみ要申込

■ママといっしょ

「棚田散歩&写真の撮り方講座」

● 9/20 (水) 10:30 ~ / 子育て支援施設
トゥインクル集合 / 要申込 / 外用帽子・
昼食・お茶などの飲み物持参 / カメラ (携
帯OK)

移動ひろば 圃こども未来係(☎24・8814)

■ 10:00 ~ 15:00

▽矢部集落センター 9/6 (火)、21 (水)

■ 10:00 ~ 13:00

▽井延公民館 9/7 (水)

▽上陽公民館 9/9 (金)

▽児童センター 9/14 (水)

▽勤労青少年ホーム 9/21 (水)

▽室岡公民館 9/23 (金)

▽かがやき 9/27 (水)

＋ 9 月の在宅医当番表

※変更になっていることがあります
ので電話で確認してください。

9月4日 (日)

吉山クリニック 稲富 30・2200
岡村医院 立花町 23・2770
香月歯科医院 本村 30・1333

9月11日 (日)

三浦医院 (皮膚科) 東京町 23・3928
中島医院 黒木町 42・0235
本田歯科医院 筑後市 0942・53・3431

9月18日 (日)

よしだ胃腸内科クリニック 室岡 23・3806
矢部診療所 矢部村 47・2700
やすなが歯科医院 吉田 23・0100

9月19日 (祝)

草場内科循環器科 納楚 23・5171
みやざき内科 立花町 37・0008
山本歯科医院 本町 24・3305

9月22日 (祝)

中野内科循環器科 吉田 25・3010
クリニックくろぎ 黒木町 42・0887
山口歯科医院 筑後市 0942・53・3256

9月25日 (日)

今里整形外科 高塚 23・7715
しばた医院 上陽町 33・7373
はまさき歯科クリニック 広川町 32・7800
宮城耳鼻咽喉科クリニック 筑後市 0942・52・8733

▼救急指定病院

公立八女総合病院(高塚) 23・4131
柳病院 (吉田) 23・2176
川崎病院 (納楚) 23・3005
馬場病院 (広川町) 32・3511
姫野病院 (広川町) 32・3611
筑後市立病院(筑後市) 0942・53・7511

▼夜間小児救急医療受付 (19:00 ~ 21:30)

[月・水・金] 公立八女総合病院(23・4131)

[火・木] 筑後市立病院(0942・53・7511)

▼日祝日小児救急医療受付 (9:00 ~ 14:30)

【9月】4(日)・18(日)・19(祝)・22(祝)
公立八女総合病院 (23・4131)

【9月】11(日)・25(日)
筑後市立病院 (0942・53・7511)

▼県小児救急医療電話相談 (19:00 ~ 7:00)

県指定健康相談事業者 # 8000

▼救急車を呼ぶべきか迷ったら (24 時間対応) # 7119

黒木・矢部地区対象

催
し
ま
す。
員
会
議
を
開
く
機
会
を
設
け
ま
す。

八女市
教育委員
会では、教
育委員
会

議を各地域へ出向き「移動教育委員
会」と称して公開しています。今
回は、黒木地区・矢部地区を対象に
実施します。会議終了後、参加者の
皆さまとの意見交換も実施します。

- 日時= 8 月 25 日(木) 19 時~
- 会場= 黒木支所大会議室
- 問い合わせ= 学校教育課
(☎23・1954)

救急車を呼ぶべきか迷っ
たら「#7119」



急な病気やけがで救急車などを呼ぶ
かどうか迷った場合に、看護師がアドバ
イスしています (24 時間対応)。電話
機の # ボタンを押してから「7119」と
ダイヤルし、音声ガイダンスに従って
ください。つながらない場合は、092・
471・0099 におかけなおしてください。
※重症時は迷わず 119 番をお願いします。
● 問い合わせ= 福岡県医療指導課
(☎092・643・3273)

おりなす八女 ♪ イベント情報

お問合せ
おりなす八女(☎22・5332)

益城町〈文化会館支援〉チャリティーコンサート

JUNICHIRO 大口純一郎(pf) トリオライブ OHKUCHI TRIO LIVE

9/9(金) 18:30 開演 ハーモニーホール



チケット発売中 (全席自由) 一般 2,000 円 高校生以下 500 円 大口純一郎(pf) 本田珠也(ds) 米木康志(b)

主催・お問合せ: NPO 法人八女ベゼンドルファー音楽祭プロジェクト (事務局) ☎ 080・8580・1740

永井龍雲 アコースティックライブ

9/10(土) 15:30 開演 はちひめホール

チケット好評発売中 (全席自由) 一般 3,500 円 友の会 3,000 円 (当日 500 円 増)

1957 年福岡県生まれ。1978 年シングル「想い」でデビュー。翌年リリースした「道標ない旅」は大ヒットを記録し代表作となる。1989 年五木ひろし「暖簾」の作詞作曲を担当し、「第 22 回日本作詞大賞」の優秀作品賞を受賞。この後、作家としても注目され、2011 年は島津亜矢「わたしの乙女坂〜晴れたら綺麗〜」作曲、五木ひろし「無人駅」作曲を担当。

独自の世界観とメッセージで聞く人を一瞬にして引き込むライブには定評がある。



主催・お問合せ: 永井龍雲コンサート実行委員会 (おりなす八女) ☎ 22・5332

おりなすシネマ〈上映会〉 本屋大賞ノミネート&読書
メーターおすすめランキング第1位のベストセラー、映画化

孤独なピアニストと離島の
生徒が奏でる最高の[合唱]。

くちびるに歌を

主演: 新垣結衣

主題歌: アンジェラ・アキ
「手紙〜拝啓十五の君へ」

原作: 中田永一

監督: 三木孝浩



9/17(土)

はちひめホール 上映時間 (1 回目) 10:30
(全席自由) (2 回目) 14:00

一般 1,200 円 友の会 1,000 円 (当日各 200 円 増)

チケット発売中 中高生・障がい者 700 円 小学生以下無料

この街を歌おう

芹 洋子

ふれあいコンサート

11/20(日) 15:00 開演
ハーモニーホール

〈ジョイント出演〉

♪ 八女女声合唱団マーミングコール

♪ 男声合唱団八女グリーンクラブ

〈曲目〉

四季の歌、坊がつる讃歌

いい日旅立ち、赤とんぼ

ふるさと ほか

(全席指定) 一般 2,500 円

チケット好評発売中 友の会 2,000 円



主催: おりなすシネマ市民プロジェクト ☎ 090・1080・0988

主催: おりなす八女文化事業振興会・八女市

8月・9月イベント情報

おりなす八女HP <http://www.orinasu-yamecity.jp/>

開催	催し	ホール	開演	入場料	問合せ先	電話番号
8/21(日)	天童よしみコンサート 2016 — 2 回公演 —	ハーモニー	昼の部 12:30 夕方の部 16:00	6500 円	おりなす八女 文化事業振興会	22・5332
8/28(日)	おりなす八女室内合奏団演奏会 〜 14 人の一流演奏家が集い、 音楽の楽しみを奏でる〜	ハーモニー	15:00	(全席自由) 一般 1500 円 学生無料 (要入場整理券)	おりなす八女 文化事業振興会	22・5332
9/3(土)	八女市男女共同参画上映会 「愛を積むひと」	ハーモニー	オープニング セレモニー 13:30 上映 14:00	無料 (申込不要・当日先着順)	八女市男女共同参画・ 生涯学習課 ※託児をご希望の方 は 8/25(木) までにお 申込みください。	23・1314
9/4(日)	八女地区吟詠連合会競吟大会	八女文化会 館ホール	9:30	無料	八女地区吟詠連合会 (事務局: 有吉)	32・3437
9/11(日)	秋風コンサート with コーラスグループポインセチア	はちひめ	13:30	1000 円	実行委員(野田)	090・ 3075・2346

黒木町出
身の馬場
智美さん

日向神ダムをテーマにした 設計コンクールで最優秀賞

(公社) 日本建築家協会近畿支部主催のJIA近畿支部卒業設計コンクールで、神戸大学工学部建築学科の馬場智美さんの作品『日向神峡の間ーダム湖の出現により浸水した峡谷と人との縁結びー』が最優秀賞を受賞しました。馬場さんは黒木町出身。卒業設計のテーマに、地元の峡谷である日向神ダム周辺を選びました。矢部公民館長の栗原浩暢さんや日向神ダム管理出張所の協力を得て、ダム周辺見学や地形について調査。水没前の写真も見て、昔々たさんの人がこの地で暮らしていた営みが、今もダムの底にあることを知りました。

作品は、日向神ダム沿いの岩

場に展望台を築き、向かいの湖畔に宿泊施設を造り、船で行き来ができるという峡谷全体を一つにまとめた構想。

「日向神峡はすぐきれいなところですが、あまり知られていません。もつとたくさんの人にここの魅力を知って欲しいとの気持ちで制作しました」と馬場さん。また、「将来、たくさんの人々が集う公共建築をふるさとで設計してみたいです」と夢を語ってくれました。馬場さんの作品は、杣のふるさと文化館(矢部村)に展示されています。一度ご覧ください。

●杣のふるさと文化館(矢部村北矢部11060) ☎47・20559時〜16時30分開館、水曜休館

作品とともに馬場さん(上)岩場を利用した展望台(左)と宿泊施設があるゲストハウス(下)。日向神湖周辺の自然を体感できるプラン

模型は発泡スチロール、アクリル絵の具などで精巧に制作されています。

矢部川をカヌーで 駆けまわった



矢部川ふれあいカヌー教室が7月30日(土)・31日(日)の2日間矢部川宮島堤防下付近であり、300人がカヌーを楽しみました。これは「矢部川の豊かな自然とふれあいながら挑戦する心を育もう」と八幡校区まちづくり協議会が行っているもので、今年で16回目。子どもたちは一人用のカヌーでスイスイと水面を駆けまわったり、保護者と一緒に仲よくパドルを漕いだりして楽しんでいました。両日とも晴天に恵まれ灼熱の太陽の下、参加者はもちろんのこと、お世話をした地域の皆さん、消防署・消防団の皆さん、指導者の皆さん、お疲れ様でした。

「田崎廣助
美術館」へ行く
てみよう②
(立花市民センター内)
☎24・8304

●開館時間= 9:00 ~ 17:15(入館は17:00まで)
※月曜休館(祝日の場合は翌日) ●入館料無料

田崎廣助画伯は、1932年(昭和7年)5月、東京を出発し、福井県敦賀港よりウラジオストックに渡り、シベリア鉄道でパリに向かいました。この時、廣助34歳。画家としては、決して早くはない留学でした。

パリ滞在中に、サロン・ドートンヌ展に2作品を出品し、両作品とも入選を果たします。これは当時、フランスの新聞に無名の日本人が入賞したと大きく扱われ、祖国日本でも報道されました。



「パリ郊外」
1933年頃(昭和8年頃)
(軽井沢・田崎美術館 所蔵)

画伯は、パリを拠点に南フランス、イタリア、スペインに写生旅行に出かけ勉学に励み、実りある留学生活を送ります。また、幼い頃より故郷・矢部川で魚釣りに熱中した画伯は、パリでも仲間を誘っては、スケッチを兼ねてセーヌ川の上流にあるモレーまで、よく釣りに出かけていました。本作品は、魚釣りを楽しんでいる人が画伯の目に留まったのでしょうか。パリ郊外の牧歌的風景が描かれています。